

事務事業名	戦没者遺族高齢者慰問事業			担当	健康福祉部 社会福祉課 社会福祉係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			増補版施策名		
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	1. 社会福祉費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	79歳以上の戦没者の妻及び父母に高齢者慰問金 年額3000円を支給し、労をねぎらう。 開始年度は、資料等がなく不明である。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 民生児童委員を通じて、慰問金を支給してもらう  31年度計画 前年度と同様		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 慰問金支給者数	人	8	6	5	4	4
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内在住の79歳以上の戦没者の妻及び父母		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 79歳以上の戦没者の妻及び父母の数	人	8	6	5	4	4
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 戦没者の妻及び父母に対して慰問する。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 支給者数 / 79歳以上の戦没者の妻及び父母の数	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 遺族の慰問		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 支給によりねぎらわれた者の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	24	18	15	12		
	事業費計(A)	千円	24	18	15	12		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	3	3	3	3	
		人件費計(B)	千円	13	12	13	13	
トータルコスト(A)+(B)		千円	37	30	27	25		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	79歳以上の、戦没者の妻及び父母への慰問のために開始。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	該当者の高齢化により、減少傾向にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	